

文化庁メディア芸術アーカイブ推進支援事業

「神戸映画資料館所蔵アニメーションフィルムのデジタルアーカイブ事業」

・神戸映画資料館の運営母体である NPO 法人プラネット映画保存ネットワークが、2020 年よりアニメーションフィルムのデジタル化と調査研究を目的に、助成を受け実施・継続。

・40 作品の一部抜粋動画を公開

<https://kobe-eiga.net/cinema/research/>

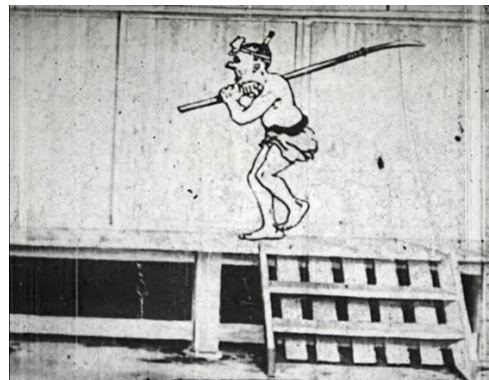
・ウェブ版『日本アニメーション映画史』作品目録の公開

<https://www.nihon-animation-eigashi.com> 「デジタルアーカイブジャパン・アワード 2025」受賞

53 『曾我夜討』（木村白山、1926 年、9.5mm 版）

【上映元素材】

伴野商店発売のパターベビー「曾我兄弟」9.5mm 全 2 巻のうち、第 1 巻目だけ。



【第 2 巻目】

ウェブサイト「映画の郷」で紹介

[https://hans-egede.org/2023/06/10/1926-soga-kyodai-mid-1920s-banno-9\\_5mm-print/](https://hans-egede.org/2023/06/10/1926-soga-kyodai-mid-1920s-banno-9_5mm-print/)

【題名について】

文部省 編『教育映画目録』昭和 5 年 5 月 15 日調査、文部省、1930 年。

国立国会図書館デジタルコレクション

<https://dl.ndl.go.jp/pid/1279223>

《種別：線画／題名：曾我夜討／巻数：2／内容又ハ目的：武士道／製作所又ハ取扱者：木村白山／製作年月：大正 15 年 6 月》

《種別：線画／題名：夜討曾我／巻数：1／内容又ハ目的：通俗教育／製作所又ハ取扱者：聯合映画社／製作年月：大正 15 年 8 月》

同	同	同	同	同	同	同	線	同	劇
赤穂誠忠録	實録忠臣蔵	忠臣蔵	曾我夜討	夜討曾我	なまけ太郎	ある夏の夜の川端	努力	雲	收獲
二	二	二	二	一	一	一	一	二	五
義士傳	舊劇	通俗教育	武士道	通俗教育			通俗教育	ナザニエル・ホーソーン原作 雲に似た人の世の姿を劇化	社会佳話
朝日キネマ	同 (大正一四・二)	中外活動寫眞協會 (大正一五・六)	木村白山 (大正一五・六)	聯合映畫社 (大正一五・八)	アックメ商會 (昭二・二二)	木村白山 (昭和三・一〇)	アックメ商會 (昭四・六)	山本嘉次郎 セカイフィルム社	振進キネマ社

三四

【内務省映画検閲情報からの考察】

通検年月日：1926年3月24日／検閲番号：9616／種別：日 描 娯／夜討曾我／1巻／328m／製作者・申請者：木村白山／備考：新

通検年月日：1926年4月9日／検閲番号：A341／種別：日 描 娯／夜討曾我／2巻／329m／製作者・申請者：木村白山／備考：複一

通検年月日：1926年6月30日／検閲番号：A3635／種別：日 描 娯／夜討曾我／1巻／327m／製作者：木村白山／申請者：聯合映画交換所／備考：新

通検年月日：1926年7月6日／検閲番号：A3836／種別：日 描 娯／夜討曾我／2巻／325m／製作者：木村白山映画製作所／申請者：聯合映画交換所／備考：新

\*内務省検閲に最初に通過した日付は1926年3月24日(検閲番号9616)、タイトルは「夜討曾我」で1巻328m、製作者と申請者は共に木村白山。その後、1926年だけでも複数の申請があり、巻数は2巻となっているものもあり、m数もまちまちである。製作者は概ね木村白山だが、一部の製作者や申請者が聯合映画交換所となっている。ただタイトルは「夜討曾我」のみで「曾我夜討」の記載はない。歌舞伎の外題「夜討曾我狩場曙」を略して「夜討曾我」と言うところから、あるいは「曾我夜討」ではなく「夜討曾我」だった可能性もある。ただし文部省編『教育映画目録』(1930年)に見られるように1巻物の聯合映画社作品『夜討曾我』と2巻物の木村白山作品『曾我夜討』が存在し、この2作品はどちらも木村白山が作った可能性も考えられる。

#### 【略筋】

『日本アニメーション映画史』の記述は「にしき絵風の墨絵で、曾我兄弟の話を忠実に動画化したもの」(194頁)。⇒ 実際は「にしき絵風の墨絵」とはいえない。

#### 【木村白山について】

「日本アニメーション映画クラシックス」/木村白山の作品として2本公開

<https://animation.filmarchives.jp/writer07.html>

おもちゃ映画ミュージアム特別企画「木村白山って、何者？」(2018年9月9日)

<https://toyfilm-museum.jp/blog/column/8444.html>

### 203『あっぱれ安さん』(大石郁雄、1931年、9.5mm版)

#### 【上映素材のクレジット】

T1: Pathé Baby [パテベビー・マーク]

T2: パテトーキー/BANNO[パテベビー・マーク]/伴野文三郎商店製作

T3: 似顔漫画/あっぱれ安さん/大石郁雄作品

T4: 主演 大河内傳五郎/音響 ニットーレコード 五〇三六<AB(血煙高田の馬場)

T5: オ二面

T6: Pathé Baby [パテベビー・マーク]

\*『日本アニメーション映画史』では製作会社の記載はない(206頁)。

#### 【ニットーレコード】

5036-A: 血煙高田の馬場(三)/島津健二/1931年/映画説明

5036-B: 血煙高田の馬場(四)/島津健二/1931年/映画説明

ウェブサイト「ニットーレコード総目録」

<http://78music.jp/nitto.html>

\*ちなみに 5035-A/B「血煙高田の馬場(一)/(二)」は、大河内傳次郎主演『血煙高田の馬場』(日活、1928年、伊藤大輔監督)のパテベビー版にシンクロ。

【発売 日活ライブラリー／日活グラフトキー】

### 十六ミリ日活ライブラリー

漫画トーキー 文 福 茶 釜 両面用 20.00

茂林寺の氣まぐれ狸が、ある日茶釜に化けておりました。和尚さんが狸のお化としらないでそれを火にかけたので、狸は熱に堪えきれずとび出しました。狸は軽業師となつて助かりましたとき。

オール・トーキー面白いこと天下一品

千代紙トーキー 春 の 唄 片面用 10.00

大藤信郎氏の近作、春や春、さくらさく日の本に生れた我等共に歌はん、共に踊らん春の唄、歌ひつゝ。

漫画トーキー あつぱれ安さん 両面用 20.00

大河内傳次郎の弟、大河内傳五郎主演の安さんは、高田の馬場に十八人斬りを演じ、昨日までの罵聲は今日は讃嘆の聲と變つた。此の上なき痛快なトーキーである。

日 活 200 頁  
ライブラリー 天國その日歸り 貳 卷 40.00

日活の珍優田村邦男が主演する所のいとほらかな喜劇、流し回タクの運轉士が思はぬ債權に當り、勿ち大金持となつて豪奢を極めたが、財界パニックのあほりを喰ひ、元の黙阿彌となつてしまつた。

### 伴野文三郎商店

東京市京橋區銀座八丁目貳

⇒<広告>『小型映画』1931年7月号 第3巻 第7号。

《16m/m 御中元向／新作日活グラフトキー映画／大石郁雄作品 天晴れ安さん ニットーレコード 5036AB 定価二十円／線画の大河内傳次郎 高田の馬場で十八人切りの大血戦 正に先端映画》

《以上パターベビー映画もあり定価は半額です。》

⇐<広告>『小型映画』1931年6月号 第3巻第6号。

《十六ミリ日活ライブラリー／漫画トーキー あつぱれ安さん／両面用 20.00[円]／大河内傳次郎の弟、大河内傳五郎主演の安さんは、高田の馬場に十八人斬りを演じ、昨日までの罵聲は今日の讃嘆の聲と變つた。此の上なき痛快なトーキーである。》

16m/m  
御 中 元 向

新作日活グラフトキー映画

	宮下萬三作品 大石郁雄作品 大石郁雄作品	文 福 茶 釜 天晴れ安さん	浦島太郎 福茶釜 天晴れ安さん	レニレニレニ レニレニレニ レニレニレニ	三九六一 三九一八 五〇三六	BABABA	定価 二二二 十十十 十十十
	藤間喜典恵嬢出演 紅民屋の娘旅	椿屋の娘旅	レニレニレニ レニレニレニ レニレニレニ	レニレニレニ レニレニレニ レニレニレニ	レニレニレニ レニレニレニ レニレニレニ	レニレニレニ レニレニレニ レニレニレニ	レニレニレニ レニレニレニ レニレニレニ
	佐渡立浪會員 相川甚句	相川甚句	レニレニレニ レニレニレニ レニレニレニ	レニレニレニ レニレニレニ レニレニレニ	レニレニレニ レニレニレニ レニレニレニ	レニレニレニ レニレニレニ レニレニレニ	レニレニレニ レニレニレニ レニレニレニ
	田村邦男、佐久間妙子、峯吟子 主演 天國其の日歸り 二百呎二卷	田村邦男、佐久間妙子、峯吟子 主演 天國其の日歸り 二百呎二卷	レニレニレニ レニレニレニ レニレニレニ	レニレニレニ レニレニレニ レニレニレニ	レニレニレニ レニレニレニ レニレニレニ	レニレニレニ レニレニレニ レニレニレニ	レニレニレニ レニレニレニ レニレニレニ
	以上パターベビー映画もあり定価は半額です。	以上パターベビー映画もあり定価は半額です。	レニレニレニ レニレニレニ レニレニレニ	レニレニレニ レニレニレニ レニレニレニ	レニレニレニ レニレニレニ レニレニレニ	レニレニレニ レニレニレニ レニレニレニ	レニレニレニ レニレニレニ レニレニレニ

東京 銀座 八丁目  
伴野文三郎商店  
電話銀座二八二四、二二一九

## 【内務省映画検閲情報】

通検年月日：1931年6月8日／検閲番号：F6322／種別：日 描 娯／天晴れ安さん／1巻／62m／製作者・申請者：伴野文三郎／17.5ミリ／備考：新

通検年月日：1931年10月26日／検閲番号：F12052／種別：日 描 娯／あつぱれ安さん／1巻／51m／製作者・申請者：伴野文三郎／9.5ミリ／備考：新

フィルムサイズは、35mmではなく、広告にもあるとおり、小型映画の16mmと9.5mmが同時に発売されたが、17.5mm版もあったことがわかる。

## 【大石郁雄について】

「日本アニメーション映画クラシックス」／大石郁雄の作品として1本『ポン助の春』を公開  
<https://animation.filmarchives.jp/writer02.html>

参考文献：原田三夫、大石郁「タイトルと線画の撮影法」『小型映画講座』第1巻、日本教材映画、1931年。  
<https://dl.ndl.go.jp/ja/pid/1258757>



## 209『あひるの子』（村田安司、1932年、トーキー版）

## 【上映元素材】

16mmトーキー版。メインタイトル、クレジット、エンドマークは欠落しているが、内容はほぼ欠けてい

ないと思われる。『日本アニメーション映画史』の解説にあるとおり、冒頭と終結部には、セーラー服の女学生がH・C・アンデルセンの童話「みにくいあひるの子」(Den Grimme Ælling)をデンマーク語の原著で読んでいる実写が挿入されている。

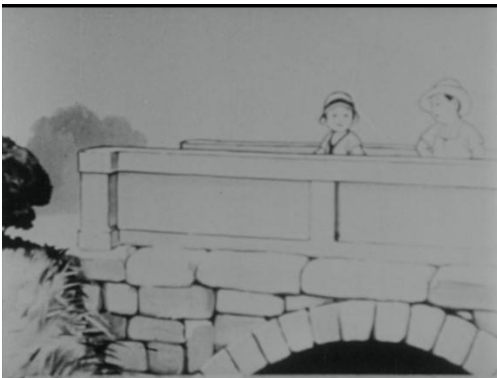
### 【略筋】

『日本アニメーション映画史』の記述は「アヒルの卵の中に混って生まれた白鳥の子が、いろいろ迫害を受ける。ある別荘にいる猫と鶏の友情に助けられ成長するが、秋になると自分を生んでくれた親のことを想像する」(206頁)とあり、『映画教育』1932年11月号の「グラフィック・セクション」に書かれた説明を参照にしたと思われる。ここにある「自分を生んでくれた親」とは、アンデルセンの原作とは異なり、白鳥の親ではなく、卵を温めてくれたあひるの母親のことである。こうした青地忠三による翻案が日本的な情緒や人情味とされ、児童に対しては報恩の大切さが説かれた。

### 【サイレント版】

神戸映画資料館所蔵 16mm ポジを素材としたサイレント版が「日本アニメーション映画クラシックス」で全篇公開。<https://animation.filmarchives.jp/works/view/91173>

このサイレント版には、終わり近くに、少年少女の実写が挿入されているが、別作品の映像だと思われる。

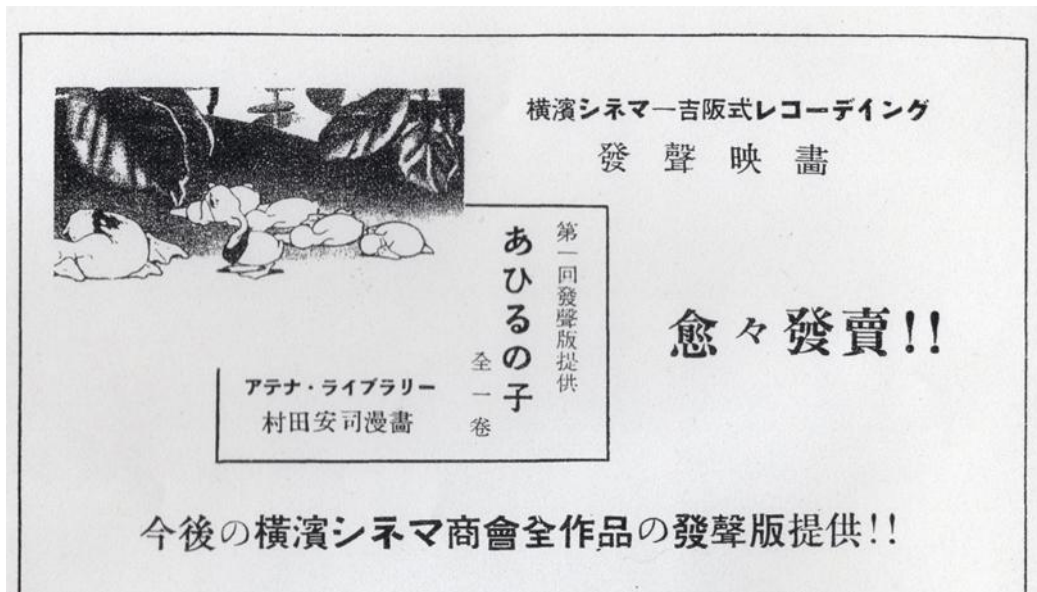


### 【内務省映画検閲情報／サイレント版・トーキー版】

**[35mm サイレント版]**通検年月日：1932年9月13日／検閲番号：G13667／種別：日 描 娯／あひるの子／1巻／323m[16fps：18分]／製作者：横浜シネマ商会／申請者：岡本洋行／備考：新

**[16mm サイレント版]**通検年月日：1932年9月21日／検閲番号：G13996／種別：日 描 娯／あひるの子／1巻／120m／製作者：横浜シネマ商会／申請者：大阪毎日新聞社／16ミリ／備考：新

[35mm トーキー版]通検年月日：1932年10月12日／検閲番号：G14645／種別：日 描 娯／〔発声フィルム式〕発声漫画あひるの子／2巻／535m[20分]／製作者：横浜シネマ商会／申請者：東京日日新聞社／備考：新



<広告>『映画教育』1932年11月号 第56輯。

《横濱シネマー吉阪式レコーディング 発声映画／愈々発売！／第一回発声版提供 あひるの子 全一卷／アテナ・ライブラリー／村田安司漫画／製作一発売 横浜シネマ》

トーキー版もサイレント版と同じ1932年に提供されており、録音方式は横浜シネマ商会が採用していた「吉阪式」であった。『日本アニメーション映画史』では「音楽伴奏版」となっているが、会話の部分は女声ナレーションが入っており、サイレント版に音楽伴奏を付けたバージョンではない。

229 『お猿の大漁』(村田安司、1933年、トーキー短縮版)

【上映元素材】



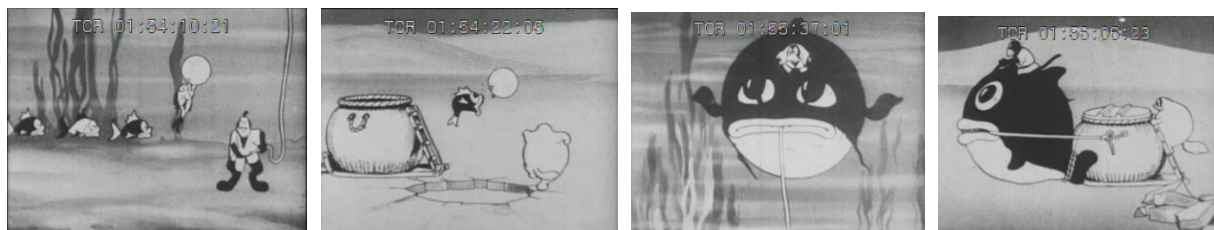
トーキー版



サイレント版 (サクラグラフ)

16mm トーキー版。メインタイトルあり。エンドマークもあるが別作品のものと思われる。メインタイトルにある「M-106」は戦後に GHQ 占領軍が行った検閲である CCD 認証番号。

内容については、お猿と大鯰の対決は前半だけで、「魚関銃の猛撃を受けてこちらはすっかりグロッキーよ」とのお猿の台詞で終わり、後半のゴム風船の件は欠落している短縮版。神戸映画資料館所蔵のサイレント版は後半もある 16mm サクラグラフ版。



サイレント版は神戸映画資料館の調査研究事業のサイトで一部抜粋映像を公開、後半の風船部分のお猿の計略場面を見ることができる。

<https://kobe-eiga.net/cinema/research/>

【内務省映画検閲情報／サイレント版・トーキー版】

[35mm サイレント版]通検年月日：1933年11月15日／検閲番号：H12460／種別：日 描 娯／お猿の大漁／1巻／246m／製作者：横浜シネマ商会／申請者：岡本洋行／備考：新

[35mm トーキー版]通検年月日：1933年12月1日／検閲番号：H13009／種別：日 描 娯／〔発声フィルム式〕お猿の大漁／1巻／296m／製作者：横浜シネマ商会／申請者：東京日日新聞社／備考：新

[16mm サイレント版]通検年月日：1934年1月12日／検閲番号：I181／種別：日 描 娯／お猿の大漁／1巻／99m／製作者：横浜シネマ商会／申請者：東京日日新聞社／16mm／備考：新



<広告>『活映』1933年12月号 第70輯，《村田安司新作／漫画／お猿の大漁／アテナ・グラフ トーキー 全一卷／アテナ・ライブラリー 無声卅五ミリ 全一卷／サクラ・グラフ 十六ミリ 四百呎 三百呎／製作 横浜シネマ商会 横浜市神奈川区栗田谷》

詳しい物語は『映画教育』1934年2月号の「新作紹介」（58頁）に出ている。